

あやしいホームページや知らない人からのメールは、絶対に開けない

**興味本位でホームページを開けないようにしましょう。
また、知らない人からのメールも、絶対に開けないでください。**

インターネットを見ていると、気が付いたら有害な情報があるホームページにつながってしまうことがあります。また、自分にきたメールなどには、全く知らない人からのものや、タイトルだけでは何が書いてあるかわからないものが入ってくる時があります。こうしたホームページやメールなどを開けると、有害な情報や出会い系サイトの広告だったり、コンピュータウイルスに感染させられたりすることがあります。フィルタリングをつけるなどの工夫をした上で、注意が必要です。



ネットに書き込む時は、注意する

ネットに書き込みをするときは、できるだけいねいな言葉を使うようにしましょう。

メールや掲示板、チャットでの会話も、コミュニケーションの方法の一つです。顔をあわせていたら、相手の表情を見ることができですが、インターネットでは細かい気持ちが伝わりにくいことが多く、誤解をまねいたり、いじめに発展したりすることがあります。

冗談のつもりが…

ちょっとしたいたずら心で、自分や家族、友だちなどの画像をインターネット上にアップロードしてしまうと、コピーが繰り返されて広がることもあり、そうなるとうと完全に消すことは難しく、その画像に一生悩まされる可能性があります。また、知らない人に自分の活動場所や個人情報を教えることにもなります。特にスマートフォンは、簡単な操作で投稿できるため、その結果、友だちとのトラブルやインターネット上で誹謗中傷を受けることがあります。

不用意な画像のアップロードはしないようにしましょう。

ただのプレゼント応募のつもりが…

プレゼントに関するサイトやゲームの登録などにアクセスする時は、注意が必要です。入力した個人情報が悪用される危険性があるので、気をつけましょう。

いじめにつながる

SNSで、ブロックという仲間はすしや、特定の人を連想させる悪口を書き込むといった事例の報告があります。相手の顔が見えないと、勢いやノリで行動を起こすことがあります。これは「いじめ」につながる可能性があります。自分にとっては、ちょっとしたいたずらや大したことはないと思ったことでも、相手にとってはとても重くてつらい思いをさせてしまうことがあります。相手の顔や様子がわからないインターネット上の書き込みや写真等のアップロードは、相手や自分にとって決して良いものばかりではないことを覚えておきましょう。



保護者の方へ 対策



- 個人情報を登録・伝える場合には、
 - ・会員登録などの個人情報の入力は、保護者がしましょう。
 - ・家族や友だちの個人情報を、本人の許可なく他人に伝えさせないようにしましょう。
- 普段から、言葉による直接のコミュニケーションを積み重ね、信頼関係を築いていくことの大切さを、子どもに伝えていきましょう。
- 子どもだけで動画や写真をアップロードしないことを約束しましょう。
 - ・子どもの不適切な画像や動画がアップロードされた場合は、まず学校や警察に相談しましょう。
- 書き込みをするときは、ていねいな言葉を使いましょう。絵文字やスタンプなどで簡単に返事をする、自分の思いとは異なる意味で受け止められることがあります。絵文字やスタンプの使い方も十分説明をお願いします。
 - ・子どもが相談しやすい環境を作り、トラブルに巻き込まれないために小さな変化でも早めに察知できるように注意を払いましょう。
 - ・メールの内容については、保護者同士でも日頃から情報交換を行うように心がけましょう。

家庭での情報モラルの必要性

各ご家庭では、上記のようなインターネットを使ったゲーム機やスマホなどの危険を踏まえたうえで、情報モラル教育についての取組が必要です。そして、このリーフレットで示したような問題点に関しては、それぞれの家庭に応じて、各家庭での「家庭のルール」を作ることをお勧めします。